

今年度初めてのアメシロ駆除消毒

今夏の酷暑はアメリカシロヒトリにもこたえたのか、殆どと言って良いくらい影を潜めています。アメシロはネットで調べたところ、六月と九月の二回発生すると出ていましたので、酷暑による影響なのでしようか。

昨年では確か六回は薬剤散布をしています。町会でも町内を巡回して発生状況

況を点検しましたが、見当たりませんでした。九月前後になつて町会員から四力所ほどの発生が報告され、九月五日に役員が薬剤散布を行いました。アメシロが好む木



不法投棄場所で蚊の駆除消毒

町内には不法投棄されている場所が二カ所あり、夏場にその前の道路を通ると、瞬間に何匹もの蚊が肌にくっついてきます。特に市の花火大会時には見物客が往来することから毎年市にお願いし、蚊の駆除消毒を行っています。



フランス人が大壇の歴史を学ぶ

愛宕神社夏季祭礼の翌日、実行委員で後片付けを行いました。そこへ市内観光をしている途

福島市花火大会翌朝の堤防清掃

福島市の花火大会が開催された翌朝の7月28日、市から岡部地区4町会に要請されるもので、花火客が置いていったゴミを集めて分別し、決められた場所にまとめる作業です。土手で見物する客が少ないことから毎年ゴミの量は少なく、ほっとしています。



【忠昭さんの説明を通訳する千春さん(左端)】

中のフランス人一行が立ち寄り、日本の歴史に興味を示したので、大壇の歴史について説明しようとしたが言葉が分からない。丁度帰省中の第五班八木沼トヨさんの娘千春さんが居合わせており、齋藤忠昭大壇歴史館長の説明を英語で通訳してくれたので、理解してもらうことができました。皆、思わぬ珍客に驚きました。



【経塚も案内して説明】

桜土手の除草と花苗植栽

異常気象が雑草の成長を促して迷惑しています。除草後少しの期間で瞬く間に



た伸びてくる。そして除草時は暑さが厳しいので大変です。

六月八日に桜土手の除草を、六月三〇日には市管理の小公園の除草と、東部支所から配給された花苗を植栽しました。八月一日にはお盆を控え、気持ち良くお墓参り出来るようにと桜土手の除草を行いました。更に、九月一日には、毎年沓澤元町会長が丹精込めて育苗・植栽されているコスモス花壇が雑草に覆われていたため、それを取り除きました。酷暑下での作業、ご苦労様でした。

子どもラジオ体操で夏休みが始まった！

育成部では夏休みに入っすぐの七月二二日～二六日の五日間、元気にラジオ体操を行いました。

昨年から参加者の中から模範演技する人をお願いしています。淡々前に出る人、自分から手を挙げる人と様々です。でも、この経験は良い思い出になることでしょう。

最終日には頑張ったご褒美をいただき、全員で記念写真を撮り散会しました。毎回約三十名の子どもさんが集まり、元気で賑やかに終了しました。

趣味紹介コーナー

「クレランゲーム」と

「ガラガラポン」にはまる

第六班尾形佐千夫さんの奥様は「クレランゲーム」と



「ガラガラポン」にはまり、気が付いたらこんなになっちゃいました」と。でも、止める気はないようです。玄関がとて賑やかになっちゃいますかね！

【お願い】

町会員の皆様の中には「趣味」「特技」をお持ちの方は沢山おおいでかと思えます。自薦、他薦結構です。090・2360・3757 齋藤馨までご一報ください。



コラム

部落中がスス払い

私が子供の頃は、今の「町会」を「部落会」と言っていた。

その頃は藁ぶきの家が多かったが、私の家も藁ぶきだった。春だったか秋だったかは覚えていないが、部落中が年に一度、一斉にスス払い（大掃除）をする日があった。家の中の殆ど全ての物を外に出し、はたきをかけ、雑巾を掛けて綺麗にする。そしてまた元の場所へ戻す。その作業量と言えば大変なものだ。囲炉裏で煮炊きしていた家もあったから、当然運び出す家具、道具類もススで汚れている。畳も全部剥がして天日干しした。部屋に戻す時は、板の上に新聞紙を敷き、その上にノミ除けの白い粉末の薬剤を撒いてから敷く。衣服はススで瞬く間に汚れてくる。そんなことはお構いなしに作業は進む。

一通り綺麗にした物を家の中に戻すと、「ああ、やっと終わった」と言っってほっとしたものだ。

今思うと、家の中から全部出して掃除をしていたなんて、よくやっていたものだ。あれほどの手間暇をかけ、しかも部落中が一斉に大掃除をしていたなんて。今、改めて考えると「えっ！凄いいことをやっていたんだ！」と感心させられる。

【齋藤 馨】

